



(NO FENCE IN NORTH KOREA)

**NO FENCE**

E-mail: [nfstaff@netlive.ne.jp](mailto:nfstaff@netlive.ne.jp)

# 北朝鮮の強制収容所をなくすアクションの会「NO FENCE」

会報 **かいほうノーフエンス**

# NO FENCE

誇りある人間として、歴史に禍根を残さないために、囲いの中に閉じ込められ、いのちを冒瀆されている人たちを放置しない。

vol. **13**

2011年8月

〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203 TEL&FAX 03-3262-7473 <http://nofence.netlive.ne.jp> 【郵便振替口座】 NO FENCE / 00180-1-707147



福島原子力発電所の事故が、一日も早く終息することを願い、避難されている方々の生活が、一日も早く取り戻せますよう心から願っております。

“核”は制御不能、処理不能、死といつも背中合わせ。

NO Nuclear !

北朝鮮強制収容所の廃絶が、一日も早く実現することを願い、収監者が一日も早く解放されることを心から願っています。

強制収容所ではいつも死と隣合わせ。

NO FENCE !

## ▶ INDEX ◀

- NO FENCE 9月国際会議参加予定 ..... 2
- 北朝鮮近況・北朝鮮で映画「クロッシング」や韓国DVD ..... 3
- アムネスティ インターショナル 報告書 (和訳) ..... 4

## 「北朝鮮・政治犯収容所」

特集

- 私の行動指針 ..... 石田英樹 9
- 強盛国家・考 (Now is the Chance!) ..... 小沢木理 10

アムネスティ・インターナショナル日本  
TAKE ACTION! の呼掛け

北朝鮮民主主義共和国の

# 「強制収容所の即刻閉鎖を！」

金正日総書記にハガキを送ってください

<アムネスティ要請項目>

- ・ヨドク収容所やその他の政治囚収容所の存在を認めること
- ・ヨドク収容所やその他の政治囚収容所をただちに閉鎖すること
- ・すべての「良心の囚人」と、ともに収容された家族を即座に無条件に釈放すること。すべての被収容者が、国際的に認められる刑事犯罪で起訴され、独立した裁判所の決定によって拘禁され、公正な裁判を受けたのであれば、直ちに釈放すること。

ハガキは、アムネスティ・インターナショナル日本のウェブサイトからもダウンロードできます。

▶ [http://www.amnesty.or.jp/?material\\_download](http://www.amnesty.or.jp/?material_download)

アムネスティが積極的にアクションを始めてくれました！





予告

9月～

2011年

参加活動予定  
NO FENCE

北朝鮮の非人道的犯罪を止めさせる国際連立発会会議 (仮称)  
(国際連立会議 (略仮称))

International Coalition to Stop Crimes against Humanity  
in North Korea Inaugural Conference

2011年9月7・8日  
東京で開催

静かに、しかし熱いイベント構想が着々と実現されようとしています。北朝鮮の人道犯罪を止める為の方策を、世界の人道主義者たちが集まって議論します。そこでは、ある程度目的へ向けての具体的な方向性が示されるのではないかと期待されています。

まだ詳細は公表されていませんが、この国際連立会議は、北朝鮮の非人道的な犯罪を止めさせるための国際会議で、おおよそ以下のような内容で進められることが分かっています。

日程は二日に亘って行われ、その初日が公開会議となっています。二日目は、関係者だけの非公開会議が行われ、そのあと記者会見がもたれる予定です。

初日会議では、公開はどこまでの範囲(プログラム)までなのかについても、いずれ近いうちに知ることができます。

この会議には、日本、韓国その他の国の重要ポストにある方々の招待、北朝鮮強制収容所脱北者の証言、国際的に人権・人道主義活動をしているNGO、弁護士組織、およびエキスパートが参加しパネルセッションなどが行われる予定です。

恐らく、北朝鮮の人権問題でこれだけの要人が一堂に会し会議が開かれるのは、非常に画期的なことです。この問題の緊急性からも、会議の成果については国内外から期待と関心が持たれることとなります。

★NO FENCEも、この国際会議でアピール(スピーチ)をする予定になっています。

- 公開会議: 9月7日(水) / 2011年
- 開催場所: 明治大学アカデミー 2階会議室  
(東京都千代田区)

※(会議は午前9時から開始され  
午後の5時頃迄開催される予定)

平日ではありますが、可能な方は是非ご参加下さい。  
殆どが英語での会議となると思いますが、当日通訳(同時通訳含む)が付くかどうか、詳細が分かりましたら当会のホームページにも掲載致します。  
また9月以降はNO FENCEへのお問合せも可能です。 E-MAIL: nfstaff@netlive.ne.jp





このコーナーは、各メディア記事から抜粋して掲載しています。

The latest news

2011年

~8月

わずかな亀裂が、いかに厚い壁をも水を通し瓦解させる。情報の流入が亀裂を起す！

北朝鮮の武力挑発を主導、金英徹氏とは 韓国政府「金英徹氏がいる限り南北関係の改善は難しい」

2011/08/02 朝鮮日報

韓国政府関係者は1日「金正日(キム・ジョンイル)総書記が金英徹(キム・ヨンチョル)偵察総局長を解任すれば、南北関係改善に向けて最低限の配慮を示したものと判断する」と述べた。

2009年2月に韓国への工作を担当する偵察総局長に就任した金英徹上將(中将に相当)は、これまでの2年6カ月間、哨戒艦「天安」爆沈や延坪島砲撃、農協のネットワーク攻撃など大小さまざまな挑発やテロを企画・実行してきた事実上の主犯だ。韓国政府は金英徹氏が金総書記の周辺にとどまる限り、南北関係の根本的な改善は難しいとにらんでいる。

今年の初めまで北朝鮮は対話攻勢に力を入れていたが、2月には南北軍事実務会談を決裂させ、6月には5月に北京で行われた南北秘密接触の内容を突然暴露した。これらはいずれも金英徹氏が中心となっていたと韓国の情報当局は判断している。

韓国政府筋によると、金英徹氏は金正恩(キム・ジョンウン)氏が金日成軍事総合大学に在学していたころ、軍事知識について個人授業を行った縁で、正恩氏に大きな影響力を行使しているという。

南北が本格的な対話局面に入る場合、金英徹氏による突発的な事態も予想される。

韓国政府関係者は「金英徹氏が金総書記親子に影響力を行使している限り、最近の南北非核化会談や南北外相会談も本格的な南北関係改善にはつながりにくいだらう」と述べた。

南北が本格的な対話局面に入る場合、金英徹氏による突発的な事態も予想される。

別の韓国政府関係者は「金英徹氏の悪辣(あくらつ)で前後を省みない性格からすると、肅正が現実となればクーデターなど極端な行動に走る可能性も排除できない」と述べた。

「南北関係は緊張する」 天安事件の2カ月前に予告 金正恩氏偶像化の教育資料入手

2011/08/03 朝鮮日報

昨年起きた韓国海軍哨戒艦「天安」爆沈事件、延坪島砲撃事件は、北朝鮮が金正日総書記の三男、金正恩党軍事副委員長への三代世襲を公式化するために仕組んだものとする分析を裏付ける北朝鮮の文書が発見された。

金正恩は、昨年(2010年)3月26日に天安爆沈事件が起きる2カ月前北朝鮮軍指揮部に対し「2 - 3月の(南北)情勢は非常に緊迫化するはずだ」と語ったとされる。

資料によると、昨年(2010年)11月23日に発生した延坪島砲撃事件にも、金正恩氏は深く関与していたとみられる。

「金正恩、金日成に似ようと6度の整形手術」

2011/06/28 中央日報

金正恩(キム・ジョンウン)が後継者に内定した後、公式席上に登場するまで計6回の整形手術を受けたという。(北朝鮮の現高位関係者の話し)

整形は、北朝鮮の住民から今でも尊敬されている祖父・金日成(キムイルソン)の風貌に似ることで、金日成のカリスマを後継者に活用するための作業と解釈される。

<北朝鮮>国内でひそかに流通、映画「クロッシング」

2011/07/05 デイリーNK



最近、北朝鮮の咸鏡北道などの中国国境地域の住民のあいだで、2008年に韓国で制作された映画「クロッシング」(監督キム・テギョン)がひそかに流通し、人びとのあいだで人気になっていると、内部消息筋が伝えてきた。

咸鏡北道で密輸業に従事する人物は、「最近、クロッシングのDVDを探す人が増えた。当局による市場の取り締まりが強化されたが、住民は密輸商などに追加の金を渡してまで購入している」と伝えた。「価格が通常よりも3倍も高い6000ウォン(約200円)ほどだが、モノがなくて売ることができない」と説明。

韓流が強制北送された脱北女性によって伝播

「全階層で韓流拡散...7割は韓国の映像を見ただろう」

2011/07/26 デイリーNK

最近では、韓流ブームがアジアを越えてヨーロッパでも起きている。しかし、外部世界と断絶している北朝鮮でも例外ではない。統一外交安保専門誌NK Vision(通巻26号)8月号では、「北朝鮮での韓流ブーム」を特集した。同紙によると、大都会の若者の間では韓国のドラマや映画を見ていない人は殆どいないほどだ。韓流ブームは地域や階層を越えて、北朝鮮全域に広がっている現象であり、北朝鮮住民の実生活にまで影響を及ぼしていると伝えた。(以下は各有識者の発言=編集者介入)「知識人や青年が韓国のドラマを見ることで、ドラマや映画を通じ自由民主主義社会の理想に憧れを持つようになるだろう」「長期的には、北朝鮮体制の変化をもたらす促進剤となる可能性がある」「平壤などの全域で現れている現象。階層別に区分すると、検閲が比較的緩い幹部層が積極的に受け入れている」「10人のうち7人は、韓国の映像物に接し、常時的に要求を持って入手している割合は約1/4程度になるだろう。市場が活性化され韓国製品の人気が高まり、脱北者を介して韓国の豊かな生活が伝わっている。この様な憧れが韓流に影響を与え、波及効果が高まっている」

「韓流ブームが中東のジャスミン革命のようになるためには、「人口100万人を超える都市で特異な事件が起こり、それが火種となり数十万人に膨れあがる必要があるが、当分の間は、ジャスミンの革命のような大きな変化は難しいだろう」「北朝鮮政権に取り締まりの意志がないのではなく、第一線で取り締まる幹部が腐敗しており、取り締まりをする意志がないため、現実的なギャップが生じている。しかし、常に危険と隣り合わせで有ることは事実」

北朝鮮内での韓流の源流は、「強制北送された脱北女性が、中国の公安の取り締まりから逃れるために濃い化粧をしていた。北朝鮮の女性がピアスや口紅を塗るようになったのは、中国から北朝鮮に送還された脱北女性を見て真似したからだ」とデイリーNKのシン局長が説明した。



金総書記親子に影響力を行使、傍若無人の金英徹(キム・ヨンチョル)氏(朝鮮日報)



二〇〇九年十一月フアンジャンヨブ元朝鮮労働党秘書暗殺団を派遣したのも金英徹

2011年5月3日

# 北朝鮮: 政治犯収容所

アムネスティ インターショナルは、指導者の継承に備えて新たな弾圧の恐れがあるという今、北朝鮮の政治犯収容所の恐ろしい実態を浮き彫りにするための新たな映像と証言を公開している。

簡易報告の主な部分は、15人の元囚人と看守の証言からなる。その15人の大部分は、安全を考えて匿名にしている。

## アムネスティ インターショナルの要求

アムネスティ インターショナルは北朝鮮のリーダー金正日(キムジョンイル)に以下の要求をする。

- ・北朝鮮の政治犯収容所の存在を認めるように。
- ・至急、北朝鮮のすべての政治犯収容所を閉鎖するように。
- ・直ちに無条件で、全ての政治犯、及び連座により捕らえられたその親族を釈放するように。
- ・他のすべての囚人を釈放するように。

(ただし、その囚人が独立した法廷において、公正な裁判を受けたいうで再拘留される犯罪者である場合は除く。)

個人でも、アムネスティのオンライン  
請願書

(<http://www.amnesty.org/en/appeals-for-action/north-korean-political-prison-camps>)  
に署名するか、ジュネーブの北朝鮮  
代表団にレターを書くことによって  
支援することができる。

### 付随事実

アムネスティ インターショナル報  
道担当局へのリクエストにより利用  
できるすべてのもの。

### 広報担当

・ラジブ・ナラヤン(Rajiv Narayan)  
(アムネスティ インターショナル  
北朝鮮調査員)

・サム・ザリフィ(Sam Zarifi) (アム  
ネスティ インターショナル アジア  
太平洋プログラムディレクター)

### 衛星画像

- ・強制収容所15号(2011年4月、及  
び2003年との比較)
- ・強制収容所14号(2011年2月)
- ・強制収容所18号(2011年2月)
- ・強制収容所22号(2011年2月)

### 写真

- ・耀徳(ヨドク)の政治犯収容所15  
号の内部の写真(存在が知られる  
唯一のもの)
- ・ケーススタディの写真
- ・北朝鮮の一般的な写真

### 復元写真

- ・拷問:4フィートx4フィートの立方  
体の独房
- ・拷問:水責め
- ・拷問:飛行機拷問と呼ばれる拷問
- ・食物:量

### 補足映像

- ・衛星画像の解析
- ・政治犯収容所にて用いられる拷問  
の方法の再現映像
- ・強制収容所で供給される食物の  
再現映像

### 再現映像

- ・北朝鮮内部の一般的な映像
- ・アムネスティ インターショナル  
アジア太平洋プログラムディレク  
ターサム・ザリフィとのインタビュー
- ・元受刑者とのインタビュー



## 管理所(強制収容所)

- 収容所に送られた人々を含む
- 指導者を批判した人(ほとんどが役人)。
- 政策の実施に障害となると判断された役人や幹部。
- 他国(多くの場合、中国)で韓国人と接触した者。
- 反政府グループの一員であると考えられる者。  
食糧危機に関する方針について政府を批判した人を含む。
- 韓国の放送の聴いて捕らえられた者。
- 朝鮮戦争(1950-1953)からの捕虜で帰国できずにいる者。
- 国境を越えて中国に行き、韓国のNGOなどと共に韓国へ行こうとして捕らえられた者。

推定20万の政治犯とその家族は2タイプの区域に収容されている。

### ●完全統制区域

--反政権犯罪を含む重罪を犯したと当局が判断した者を収容する。釈放された人間は今までに誰もいない。

### ●革命化区域

--政府の政策について批判的、または不法に国境を越えようとしたもので、当局に罪を犯したと判断された者を収容する。刑期は数カ月から10年に及ぶ。

### 耀徳(ヨドク)の強制収容所の状況

- 管理所(収容所)15号の位置する咸鏡南道の気温は平均して-20度から-30度程度である。
- ほとんどの収容所には、毛布が全くない。
- トイレは200人当たり一つだけ。
- 適切な医薬品を得る手段はない。
- 公開処刑は囚人たちの目の前で行われる。

耀徳(管理所15号)の政治犯収容所は別として、アムネスティインターナショナルが持っている他の収容所の情報は非常に限られている。私たちは衛星画像からその位置や収容されている人数、生産される物品の数の推計を知るのみである。

ほとんどのアムネスティ インターナショナルがもっている情報は、北朝鮮の政治犯収容所から解放されて、なんとか国を出た人から得てい

る。そういった人たちは主としてヨドクの革命化区域の元抑留者である。

### 統計データ

- 完全統制区域の政治犯収容所14号と18号から逃げて何とか国を出た人は3人しか知られていない。
- ある子どもは、立つこともできない、横たわることもできない小さな拷問部屋に8ヶ月間閉じ込められていた。
- 収監者のおよそ40%は栄養失調で死亡する。
- インタビューした全ての元受刑者は、少なくとも1回の公開処刑は目撃している。
- 北朝鮮の(強制収容所以外の)公開処刑の数はここ数年で急増している。

これは、金正日から金正恩(キムジョンウン)に権力が継承される前に反論を取り締まる一環であると考えられる。2010年には、60人の公開処刑が行われたことが知られている。これは少なくとも過去7年よりも多い数である。

## 収容所内の懲罰と拷問

### ●死刑執行

収容所当局者の自由裁量により、銃殺刑、絞首刑が行われる。

### ●独房

規則に従わない者は立つことも座ることもできない小さなサイズの監房に入れられる。最短投獄期間は1週間。アムネスティには13歳の少年が独房に8ヶ月投獄されていたとの報告がある。8ヶ月の間、一歩も外へ出ることは許されなかった。

### ●水責め

頭上に置かれたビニール袋に入った水に頭を長時間浸けられる。

### 飛行機のごとく吊り下げられる

囚人が手足を後ろで縛られ、多い時は、一日5回、30分ずつ吊るされ強打される。

他の拷問としては睡眠妨害、爪と指の間へとがった竹串を差込む、手錠をかけ手錠から吊るすなど。

### ●連座制

親戚が収容所に収容されたために、何万人もの人々が管理所に連座制で収容されているとみられる。一つの収容所、例えば5つの谷にまたがる、耀徳の管理所15号では、連座制で収容された者だけでも何万人に達するとみられる。耀徳は5万人の収容者を抱える強制収容所であり、その(革命化区域の一部では連座制で収容された政治犯の家族が多く入れられている。他の連座制の収容者は、耀徳の完全統制区域に入れられているとみられる。

## 実例と引用

### ●死刑執行

●管理所14号で生まれ、そこで23年間を過ごした申東赫(Shin Dong-hyuk/シンドンヒョク)は、逃亡中捕まった彼の母親、張恵京(チャンヘギョン)と兄の申希根(シンヒグン)の公開処刑を見ることを強要された。管理所14号の拷問部屋で7ヶ月以上拷問されたのち父親と再会した直後、再度目隠しされ、人だかりのする外の公共広場へ連れ出された。そこは年2,3回公開処刑の行われる場所であることにすぐ気づいた。手錠がはずされ、最前列に座るよう指示された。男性と女性の囚人が遠くからひきずられてきた。間近に見た時に、恐ろしいことに、彼ら2人は、母親と兄であることがわかった。兄は衰弱しているのは明らかで、皮膚の下の骨がくっきりと見え、母親は頭部から足の先まで全体が腫れあがっていた。起訴状が大声で読み上げられ、張恵京と申希根は人類の敵であるため死刑に処すと述べられた。最前列に座っている自分達の目前で、母親は絞首刑になり、続いて兄が銃撃隊により、銃殺された。

●北朝鮮でこれ以上生活したくないと言ったために管理所15号に収容された崔グァンホ(Choi Kwang-ho)は、空腹のため2001年8月28日に労働中の班から抜け出し、いちごを盗んだかどで公開処刑された。

●元収容者、Kimは、「管理所収容者は皆公開処刑を見た。管理所15号に収容されていたときに3回見た。脱獄し逃亡中に捕まった囚人の処刑も行われた。私の知る限り、耀徳の管理所15号から逃亡できたものはいない。逃亡を試みたものはすべて捕らえられた。そして2ヶ月から3ヶ月取調べを受け処刑された。」と言った。1999年宗教信条の発覚で処刑された当時24歳の董チョルミ(Dong Chul-mee)も金(Kim)の記憶にある人物のひとりである。

## 飢え

●囚人管理人は、収容者は蛇、ねずみ、豚のえさをも食べていたとアムネスティインターナショナルに証言した。

●元収容者 申東赫は「幸運にも牛の小さな糞の塊の中にとちもちの粒を見つけたので、袖で拭いてその粒を食べた」と証言した。

●管理所15号に収容されていた、朴インシク(Park In-shik)は2003年の2月に蜂の巣の蜂蜜を食べたかどで、食べ物の量を減らされ独房へ入れられ、栄養失調で亡くなった。2001年9月に酔っていたときに、国のインフラの不備を批判したため管理所15号に収容された当時、38歳であった。

## 衛生

●元収容者、金(Kim)は「耀徳収容時にシャワーを浴びられることは無かった。身体は異臭を放ち、しらみの発生で痒かった。時が経つにつれ、皆が体中厚い埃にまみれ、全員が臭いので、体臭が気にならなくなった。夏、川原で労働する際、看守が囚人の体臭に耐えられないときのみ、川の水を浴びることができた。その時でさえ、明日の命があるかわ

からないため囚人達は全身浴をする者はほとんどいなかった。釈放後、体中の厚い垢の層としらみを取り除くのに何ヶ月もかかった。」と述べた。

## 拷問

●元収容者、李(Lee)はふたつの拷問されたことを話した。「小さなテーブルの上に置かれたやかんと、約20cm高さの紐のつけられた、低いテーブルがあった。私は、低いテーブルの上に紐でくりつけられ、やかんの口を口の中に押し込まれた。注ぎ込まれた水を飲まないわけにいかず、すぐに口中一杯の水は鼻から噴出した。強い痛みと呼吸困難で失神した。(どの位失神していたかわからない)気づくと、自分の膨れ上がった腹に乗せられた板の上に拷問者は乗り、無理やり水を出そうとした。強い痛みを伴い、水を吐き出さざるを得なかった。自力歩行できなくなり彼らに監房にもどされた。高熱に苦しみ、しばしば気を失った。2週間経ちようやく自力歩行できるようになった。」

●「縛られた腕から30分位ずつ、一日に5回も吊り下げられた。また、黒いビニールを頭に被せられ、長時間水に突っ込まれたりした。毎日ではなかったが、5ヶ月間拷問された。拷問の実施日には終日かけて行われた。ついには、拷問者の望む通りの内容を自白せざるを得なかった。」

李(元Yodok囚人)

●北朝鮮出身、韓国籍を持つカングン(Kang Gun)は、2005年3月4日、中国の吉林省で北朝鮮の手先に連れ去られ、咸鏡北道に収容された後、平壤と清津の拘置所にて強打され、拷問された。彼はその後、両足を切断され、2008年から2009年にどこかの管理所に収容されたとアムネスティは記録している。

●管理所14号で生まれた申東赫は政治犯収容所地下の拷問部屋で収容所当局者に拷問を受けた。彼の父親も拷問され、申東赫の母親と兄の逃亡計画を知っていたか、または加わったかを問い詰められた。彼は当時13歳でその様子をこう証言し

た。「朝、直ちに学校に報告するよう命令された。手錠をかけられ、目隠しをされ、車で知らぬ場所に連れて行かれた。その朝、収容所逃亡を試みた罪で母親と兄が捕らえられたが、家族ぐるみの計画であったかの自白を強要された。管理所14号の地下の拷問部屋に連れて行かれ、天井に小さい照明しかついていない、暗く小さい7号室に入れられた。翌日はあらゆる器具の置かれた拷問部屋で拷問を受けた。裸にされ、手は縄で縛られ、足は足枷がかけられた。天井から手と足で吊り下げられた。拷問者の1人が、誰が逃亡計画を始めたかの自白を強要した。知らないと言った。誰かが石炭に火をつけたもので背中の真下からあぶりはじめた。腰があぶられ、悲鳴を上げた。腿の付け根近くに付けられた鋼鉄のフックのため身体をくねることができず痛みで気を失った。どのくらい気を失っていたかわからないが、気づいた時は自身の便と尿で悪臭のする監房に居た。下腹部には出血と傷があった。日が経つにつれ、痛みは増し、肉が腐り始め、看守が監房にはいらぬほどであった。

## 児童労働

●ある元囚人は、回想した。「10歳くらいの少年が、彼の体重より重い30キロの土が入れた袋を一日30回持ち上げるよう命令された。すべり落とした時は教師に棒で叩かれた。」

●幼年時家族とともに収容された元ヨドク収容者の姜哲煥(Kang Cheol-hwan/カンチョルファン)は、「この労働は自分や自分と同年代の子供達には重過ぎるものであったが、不平をこらえた。10回行った後には足は震え始め、身体は痛み、肩の皮はむけた。倒れそうであったが、教師は監視し、やめれば棒で打たれるのであった。」と回想した。

●囚人と家族は別々に収監されたが、両親と子供は子供が労働可能な年齢に達するまでの同居が許された。

●1982年に管理所14号で生まれ



た申東赫は「5歳児用の学校に行かされ、読み書き、引き算のみ習わされた。12歳になると中学校に行かされ、労働もさせられた。母親と離され他の子供たちと過ごした。授業と言えるようなものはなく、草刈、収穫糞運びをさせられた。」と証言した。

●申東赫は回想した。「13歳から16歳の子供には危険な仕事をさせ、仕事で多くの子供は亡くなった。一日に4~5人、亡くなる事もあった。あるときは、8名もが事故で亡くなった。3名が高いセメントの壁の上で作業し、15歳の少女3名と2名の少年は下でモルタル(建築材料)を持って補助として働かされていた。モルタルを運びながら、高いセメントの壁が崩れ落ちるのが見えた。彼ら8名は何トンもあるモルタルの下敷きとなり、彼らが救出されることは無く、看守が言ったことは、作業を中止するなということだけであった。」

●姜哲煥は仕事場で子供が死亡する他の事例を回想した。「クラスの子供たちに200メートルにわたり、地下を掘るよう指示され、12名の子供達がショベルでほり、他の子供達が掘り起こされた土を袋やバケツで運び出していた。現場は非常に柔らかい土質であった。教師は掘り進めるよう指示するが、掘り進めればいつ崩れるか分からなかった。3日後、上に立っていた6名が積み上げられた土砂とともに崩れ落ち、3名が亡くなり、3名は重傷を負ったが、教師は生徒の不注意の結果とものした。」

## 強制労働

●申東赫は「管理所14号では、1982年から1994年の最初の12年間は、母親とともに暮らした。母親には朝5時から夜11時までの農作業が課せられていた。夜9時半には労働は終わるのだが、他の収容者とともに1時間半の主体思想討論会に出席させられた。夜11時以降はどの収容者も外出が禁止されていた。母親は非常に忙しく、自分達を慈しむ時間も気力も無かったので、母親を思い出しても感情に突き動

かされる思いはない。

1992年、10歳の時、命令に従い、母親と一緒に米の収穫へ行った。課せられた仕事は完遂しなかった。その日は、母親は特に顔が青ざめ、ふらふらし、頭痛を訴えていたが、どんな体調であろうが休むことは許されなかった。自分は力の限りがんばったが、分担分を終われそうに無かった。囚人管理人は自分達の作業の遅さに腹を立て、他の囚人たちが昼食をとる間、泥だらけの道でひざまずいていなければならなかった。1時間半後、母親は作業に戻るよう指示された。午後3時に気を失うまでがんばったが、その夜の総括では、40名の囚人が彼女の怠慢さを批判するのを2時間ひざまずき、聞かなければならなかった。」と明かした。

●金(1999年から2001年まで収容された)と李は、付け加えた。「管理所15号で朝7時から夜の8時までトウモロコシ畑を耕すよう指示された。15名から20名からなる作業班に分けられ、それぞれ指示された収穫量を達成しなければならなかった。達せられない場合は集団で罰が与えられた。3年間収監中の自分達は常に飢餓状態のため虚弱であり、しばしば、指示された収穫量に達しなかったために、強打され、食糧の配給は減らされた。それに加えて、ノルマが達成できなかった者は作業後の総括でもひどく批判され、他の囚人から叩かれた。」  
「病気になるれば収穫量がゼロになる。そうなったとき、食事は与えられない。」

●Chaグアンホ(Cha Kwang-ho)\*は、強制労働として木を引きずっていた時、ひどく背中を痛めた。傷がひどく働けなくなったため食料の配給はなくされた。2001年栄養失調で亡くなった。1995年1月に管理所15号に収容された当時65歳のジャーナリストであった。

(※訳者注:Cha Kwang-ho は“実例と引用の死刑執行”に出てくるChoi Kwang-hoの誤字とも考えられるが確認出来ていない。)

## 北朝鮮の処罰文化

●北朝鮮には、“自己批判”(思想闘争)という処罰文化がある。どの階級の間人も地域で定期的に行われる総括で自分と他人の批判を行わなければならない。

●管理所ではこれが1日の終わりに大勢で行われる。怠ったものは囚人管理人の命令でその集団メンバーにより強打される。

●一般社会では、中年女性を議長とした総括がほしい、週末に行われ、様子を監視人に報告する。ここで危険人物と見なされた者は、政治犯として収容所に収監されることになる。

●有罪者と見なされた者は裁判にかけられることなく、又、裁判が行われるとしても、本人不在での実施である。

●連座制で収監される者への裁判は無く、連座されることさえ知らないことが多い。いつ釈放されるのかも知らされない。

## 世襲に先立つ弾圧

1980年金正日による継承が労働党で既決されたとき、朝鮮労働党による粛清が行われた。10万人もの人々が強制労働を宣告され8つの収容所に送られた。約30年後、2010年9月28日労働党中央委員会総会で金正日の末息子、金正恩(キムジョンウン)が党中央軍事委員会副委員長に任命された。このことにより、彼は父親の権力を受け継ぎ次期指導者になると見られている。

この決定により、処刑の数が急増したので、非常に多くの人間が収容所へ送られたのであろうと考えられる。



## 収容所情報

- 管理所14号 平安南道 价川(ケチョン) (五つの谷にまたがる)

写真あり

完全統制区域

人口 50,000人以上の囚人とその家族  
生産物 とうもろこし、豚、大豆ペースト、軍服、  
タイヤ、セメント、紙、ガラス、陶器

寝具類 なし

衣服 半年に1回の支給

食事 1人一日700グラム

- 管理所15号 咸鏡南道(ハムギョンナムド) 耀徳(ヨドク)

写真有り

完全統制区域と革命化区域

人口 50,000人以上の囚人と家族  
生産物 大豆ペースト、砂糖菓子、アルコール、  
石灰岩採掘、とうもろこし、羊、フィルタ  
ーつきタバコ、あひる、箸、麺

寝具類 家族収容所のみ配布

衣服 家族収容所のみ年1回配給

食事 1人一日600グラムのとうもろこし(年  
1回のお粥と2回の米 配給)

子供1人300グラムのとうもろこし

特記事項 5人中2人は栄養失調で亡くなっている。

3~4%の収監者は事故で亡くなっている。

- 管理所16号 咸鏡北道(ハムギョンプクト) 化城(ファソン)

完全統制区域

人口 20,000名以上の囚人と家族

生産物 不明

寝具類 不明

衣服 不明

食事 不明

## ■公式文書

より多くの情報をご要望の方は、以下にご連絡ください。

アムネスティ インターナショナル ロンドン

電話 +44 20 7413-5566

Email [press@amnesty.org](mailto:press@amnesty.org)

住所 International Secretariat, Amnesty International, 1 Easton St., London WC1X 0DW, UK

URL [www.amnesty.org](http://www.amnesty.org)

- 管理所18号 咸鏡南道 北倉(プクチャン)

写真有り

完全統制区域と革命化区域

人口 10,000名以上の囚人と家族

生産物 石炭、セメント、陶磁器、瓦、アルコール

寝具類 なし

衣服 作業用衣服が1年に1回支給される

食事 ひとり1日300~900 グラム

- 管理所22号 咸鏡北道 会寧(フェリョン)

写真有り

完全統制区域

人口 50,000名以上の囚人と家族

生産物 とうもろこし、スイカ、ジャガイモ、調理油、大豆ペースト、  
砂糖菓子、葉巻

寝具類 不明

衣服 不明

食事 不明

特記事項 多くは子供であるが、毎年1,500~  
20,000名が栄養失調で亡くなる

- 管理所25号 咸鏡北道 清津(チョンジン)市 輸城(スソン)

完全統制区域

人口 50,000名以上の囚人と家族

生産物 不明

寝具類 不明

衣服 不明

食事 不明

★  
アムネスティ日本支部では、強制収容所の即刻閉鎖を求めるハガキを送る運動の呼び掛けをしています。(表紙を参照ください) ノーフェンスの活動目的とも重なり勇気づけられます。ご協力を。



# 私の行動指針



私がNo Fenceに入会したのは今年の3月、そして4月の総会で世話人を引き受けた。

No Fenceに入って日も浅いが、月1回の世話人会議に出席するなど世話人として活動している。私は現在、社会人2年目の25歳であり何かと忙しい日々を過ごしているが、北朝鮮の強制収容所問題を解決するために行動を起こすことは正しいことだと思うし、自分なりに時間を作ってこの問題に継続して取り組んでいきたいと思っている。ここでは、私がそう思うようになった経緯や自分のNo Fenceにおける行動指針について書きたいと思う。

私は大学で韓国・北朝鮮の政治や歴史などを学んだというわけでは、全くない。私の大学での専攻は、電気・電子工学や物理学であり、現在はシステムエンジニアとして仕事をしている。私の北朝鮮に関する知識は、テレビで報道されている程度に北朝鮮には独裁政権があり、そこで暮らす人々が貧困などで苦しんでいるということを知っていたのみである。我々日本人にとっては、北朝鮮は近くて遠い国である。北朝鮮に関してテレビで報道されるのは、核の問題や拉致問題が主であり、もっと一般庶民に焦点を当てた人権侵害という問題が取り扱われることは少ない。もちろん、日本人として「拉致問題」は他人事ではないし、早く解決してほしいと心から願っている。しかし、もっと広い意味での人権侵害については、普段あまり意識することなく過ごしてきた。

NO FENCE世話人 **石田英樹**

私が北朝鮮の人権問題に関わりたいという気持ちが強くなったのは、かなり最近のことである。2010年末に始まったチュニジアの民主化運動は、北アフリカ・中東に波及した。リビアはまだ戦争中であり情勢は不安定ではあるが、この民主化の波により世界は少しずつ良い方向に向かっているのではないかと考えている。

翻って、北朝鮮である。私は北アフリカや中東の政治に関する知識がないので一概には比較ができないが、北朝鮮でまかり通っている悪政は、エジプトなどの比ではないのではないかと想像する。それであれば、本当に民主化運動の波が波及するべきは北朝鮮なのであるが、北朝鮮は閉鎖的な国であり、情報の行き来も少なく、今の北朝鮮にその兆しは見られない。だからと言って今の状況のままでいいわけではないし、なんとか北朝鮮の状況を良くするように何か行動をしなければならない、そう思って北朝鮮の人権問題に対して活動している団体を探し、活動理念に共感ができたのがNo Fenceである。今は世話人になったばかりで、北朝鮮に関しても他の世話人と比べて知識に乏しい自分がいる。しかし、No Fenceに入り、総会で強制収容所解体作業の話聞き、AMNESTYの強制収容所に関する報告書を訳すなどして、自分がNo Fenceに入ったのは正しいことなのだという気持ちは強くなった。

北朝鮮の強制収容所内で行われている拷問や公開処刑、そして家族の中に政治犯がいるというだけで逮捕される不条理な制度、強制収容所内だけでなく一般大衆にも影響しているのであろう飢餓の問題、こういったことを考えると北朝鮮は変わらなければならないし、日本にいる自分もできることをしなければならないと思う。

No Fenceの活動目標は北朝鮮に存在する強制収容所の廃絶であるが、もちろんやろうとしていることは非常に難しい。それでも、私は一人の人間として、この問題に対して行動を起こさなければならないし、その行動が実を結ぶように継続していかなければならないと思う。

「善い行いをしたいという気持ちに素直であること」、「常に行動的であること」この二つを、今後自分がNo Fenceで活動をする上で指針にしたいと思う。善いと思ったことはすぐに行動に移して、世の中をよりよくしていきたい、日本に近いところでは北朝鮮という国で想像しがたい人権侵害がまかり通っているので、この問題を解決するために何か行動をしたい。そう思ってNo Fenceに入会した。もちろん、北朝鮮問題に関して自分一人で成し遂げられることなど何もないし、No Fenceで協力して問題に立ち向かっていかなければならないと思う。

まだNo Fenceに入ったばかりで全てはこれからなのですが、世話人として頑張っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。



ブレンストーミングとして

## 強盛国家・考



Now is the Chance!

共同代表 小沢木理

## 止められない“人民の不信”

『北朝鮮が故金日成(キムイルソン)国家主席生誕100年の12年に「強盛大国の扉を開く」と掲げてきたスローガンを、最近になって「強盛大国」を「強盛国家」に格下げするよう方針を変更していた。背景には国際社会との関係改善も進まず経済難克服の道筋が見えないことから、国民の期待値を下げる狙いがある。』(2011年8月13日毎日新聞)という記事があった。

「金正恩(ジョンウン)後継体制化で致命的危機が訪れる可能性が60~70%程度見込まれる」「北朝鮮を取り巻く対内外環境はすでに危険水域を越えている。」といった分析もある。これらの背景と今後の私たちの対応を探ってみる。

金正日の健康悪化をきっかけに統制の破綻が次々と露呈してきた。デノミ政策の失敗で国家経済が急激に悪化し、経済難に苦しむ国民の当局への極度の不信や反発がある。さらに「万能で完全無欠な金正恩」という誇大宣伝への国民のしらけとその統治能力不足を見透かした民心の離反がある。飢餓は、国民ばかりか軍隊の下級幹部や兵士も、慢性的栄養失調に陥り限界に来ている。

また正恩が権力を把握しきれていない場合、正恩と軍の高位幹部と権力を分担して行う可能性もあり、その先権力闘争に発展する可能性も充分にある。

実際問題、強制収容所の解体・解放は、誰がどのような条件になったとき行うのか。またわたしたちは、北朝鮮の現体制が維持できなくなったとき、北朝鮮の人権状況の改善のために特に周辺国はどのようなサポートが必要になりまた出来るのかについてまでも思いを巡らせておかなければ現実的ではない。ただのかけ声で終わってしまう。

## ウインウインの模索

解決は、最終的には広い意味で各当事者がウインウインでなければ得られない。これはひとつの道理である。

5年前の2006年、元朝鮮労働党書記故黄長燁(ファン・ジャンヨブ)氏が書いた「北朝鮮民主化における当面の課題」という論文から国際コリア研究所(翻訳 朴斗鎮)掲載以下引用する。

論文「北朝鮮民主化における当面の課題」では、『北朝鮮を民主化する上で、まず解決しなければならない問題は、金正日独裁体制を除去し、市場経済を導入することだ。これは結局、中国式に改革開放を実現することを意味する。(中略)金正日政権の命脈は中国が握っている。中国が金正日独裁集団との同盟関係を断ち切れば、金正日政権はすぐに崩壊する。しかし、中国が金正日政権と同盟関係を維持している限り金正日政権は倒れない。金正日の要求を代弁せざるを得ない。(中略)現状を維持すれば、米国式自由民主主義が鴨緑江まで入ってこられないばかりか、韓国における親北反米勢力も強化される。親北反米勢力はそのまま親中国勢力である。ここに中国が、国際犯罪集団として悪名高い金正日集団と同盟関係を引き続き維持している理由がある。(中略)現在における北朝鮮問題解決の最も現実的方法は、北朝鮮が中国式に改革開放に向かうようにする道しかないといえる。

北朝鮮が、中国式に改革開放すれば、北朝鮮問題の基本はすべて解決することができる。

第一に、北朝鮮問題がおのずと解決され米国の憂慮が解消され、第二に、自由民主主義浸透の心配がなくなり、中国の根本的利益に合致し第三に、北朝鮮人民の飢餓と貧困が解決され、人権問題も解決に向かうので北朝鮮人民の利益に合致し、第四に、南北分断の苦痛が清算され、祖国統一の局面が大きく開かれるので韓国国民の利益にも合致する。

万一北朝鮮で、金正日独裁体制が除去され市場経済が導入されれば、現在の分断ラインをそのままにして韓国の資本と技術が自由に入り、人材も自由に送れ、北朝鮮を助けることができる。そうなれば、10~15年の間に南北間同質化問題も解決し、最終的統一問題も順調に実現できるはずだ。(中略)金正日独裁政権を除去し、北朝鮮を中国式に改革開放させる鍵は中国だけが握っている以上、北朝鮮を中国式に改革開放させることは、国際民主社会に

対する中国の義務であると言える。それゆえ米国をはじめとする国際民主主義勢力は、中国が国際民主社会の前に負っている義務を遂行するよう強く求めなければならない。それと共に自由民主主義の浸透に対する中国の憂慮を払拭し、金正日集団と同盟関係を維持して得られる利益よりもっと大きい利益を中国に保証しなければならない。(中略)

米国が中国と協調し、北朝鮮問題を速やかに解決することは、世界民主化の偉業遂行で過去の覇権主義的制約性を克服し、新しい境地を切り開く世界的模範となるだろう。(後略)

## 足もとが一番のアキレス腱

黄長燁氏の分析と主張は多くの示唆に富む。

北朝鮮の人権改善の実効性を持たせる手だてには、中国への働きかけ以外に、国内での現体制の弱体化作戦、それに国際的非難の拡大が必要だ。北朝鮮の人権問題の改善や強制収容所の解体・解放の実現の為に、最低限金正日体制の自国内での孤立化、無力化や弱体化が実現しなければ成り立ち得ない。息子金正恩に引き継がれてもそれは同じである。

金正日の側近たちや一般市民たちが、供された情報ではなく自ら得た情報を得て変わっていくことである。じわじわ足もとの立ち位置の地盤(国民)が緩みだすことは、外部からのどんな非難決議や圧力より現体制に大きな影響を及ぼすアキレス腱となるはずだ。

## わたしたちは

しかしことは流動的だ。様々な国家間の利権優先が先行しだと想定通りには行かない。北朝鮮の豊富な地下資源を巡って、海外の企業が高い関心を持つことになった。咸鏡北道(ハムギョンブクト)茂山(ムサン)鉦山の鉄鉦石をめぐり、北朝鮮内の企業が販売権の確保をめぐり争いが熾烈になってきている。新たにこういった非常に厄介な問題が加わり人権問題が後ろのほうに追いやられる可能性もゼロではない。しかし私たちが目指す基本的な三つの活動方針はおおむね変わることはないだろうと思う。

「金正恩体制に進む過程で混乱が起き、今まで出て来なかったさまざまな要求が飛び交うようになった。“交代のとき、必ずスキが出来る”“逆に言えば”その時は何か起きるチャンスにもなる」と語ったスーパー勤務の女性のことがまた繰り返し思い出される。

▲(はみ出しコラム) 05年頃まで、かつての国連人権委員会が人権問題を扱う信頼性と権威のある組織ではなかった。03年、国際人権委員会議長を務めたのがリビア大使。その任期間、裏で外国人雇い兵を使った突如の突撃隊を編成していた。リビアのワタアブー・ムハメドは、この突撃隊に所属させ半年で推定3万人の反体制派の死者を出し、なにも大量殺戮を繰り返している。反人権姿勢を取り続けるリビア。この人権外交の危機を解消する為、06年国連人権委員会が解散され人権理事会に改革した。

